

IR報告～2020年度学生調査～

1,3年生を対象として今年度実施した学生調査の集計結果の一部をご紹介します。

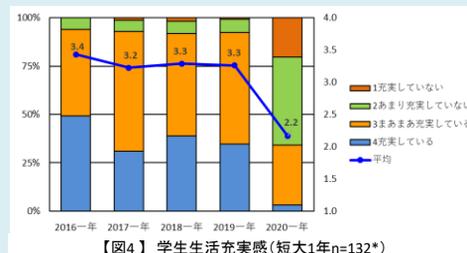
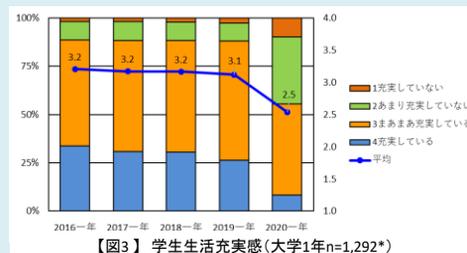
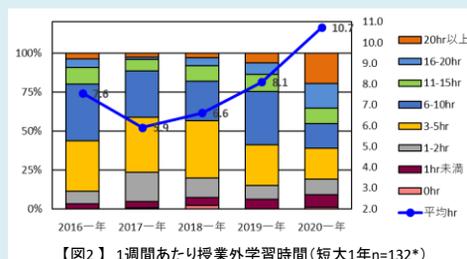
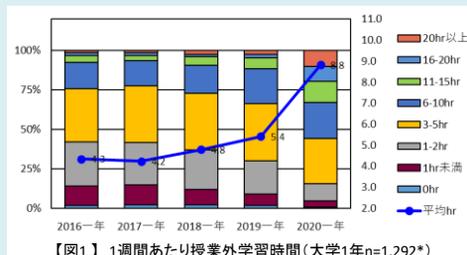
1週間あたりの授業外学修時間(図1,2)と、学生生活の充実感(図3,4)について、1年生の集計結果を過去と比較できるかたちでグラフ化しました。

今年度は新型コロナウイルスの影響により、授業は主にオンラインで行われました。一部授業は対面で行われたものの、1年生のなかにはキャンパスに足を運ぶことのないまま、大学での学びに臨んでいる学生もいます。

授業外学修時間は、2017年度以降ゆるやかな増加傾向が続いてきましたが、大学・短大ともに今年度は前年度と比較して増加傾向が、顕著に表れました。オンライン授業が、課題の提出・確認を中心に行われることと関係しているようです。

学生生活の充実感は、前年度調査に比べ、平均値にして20～30%程度低下しました。これは、新型コロナウイルス対策のため、学生はさまざまな制約を余儀なくされた生活を送っていることが影響したものと、推測されます。

今回は、大学・短大レベルの集計結果を示しました。学科・科レベルの集計では、全体とは異なる傾向が見られる場合があります。学科・専攻レベルの集計結果については、今後IR情報にて展開して参ります。



*nの値は、いずれも2020年度実施時の回答数。

【連絡】令和2年度後期授業アンケート

後期授業アンケートを下記要領で実施しています。結果公開・コメント入力準備が整いましたら、先生方にはあらためてメールで連絡を入れさせていただきます。主担当教員として授業を担当されている先生方は、コメントの入力をさせていただきますよう、よろしくお願いいたします。

- ◆ 実施期間 令和3年1月31日(日)まで
- ◆ 結果閲覧・コメント入力期間 令和3年2月中旬～3月末 ※開始時にメールで連絡をいたします。
- ◆ 詳細情報 学修・教育開発センター HP

<掲載先>大学TOPページ→学修支援と学生生活→学修・教育開発センター(CRED)→大学IR→授業アンケート

<CRED貸出書籍のご案内>

『深い学びの科学』

北尾倫彦(著) 図書文化

幼児教育から高等教育に至るまで、学習や授業に関して、心理学の専門用語で語られる機会が増えてきた。しかし、それらの言葉が必ずしも正確に使われていないのが現状であり、そのことを著者は憂えている。そこで、実践場面を中心に取り上げ、基本的な理論的背景を解説し、用語の正しい理解と適切な使用を導いており、学習指導・学習評価の大家ならではの好著といえよう。巻末の附表「深い学びの観点、方略、具体策」が見事である。

(児童学科・平山祐一郎先生)



令和2年度 リサーチウィークス 開催日程

案内冊子は
ガルーン掲載・メール配信します
(2月上旬予定)

オープニングレクチャー
2月15日(月)13:00～ ※オンライン

FDフォーラム
2月17日(水)13:00～ ※オンライン

教員研究成果発表会
2月19日(金) 終日 ※オンライン

学長裁量費成果発表会
2月22日(月)9:30～ ※オンデマンド

★オンライン、及びオンデマンドの参加
詳細情報につきましては、後日メール等
でご案内します。

【告知】

令和3年度シラバス第三者チェックを実施

昨年に引き続き、全科目で第三者チェックを実施
します。どうぞよろしくお願ひします。

<スケジュール>

- ◆ シラバス入力期間
2月17日(水)～2月28日(日)
- ◆ 第三者チェック期間Ⅰ
3月1日(月)～3月7日(日)
- ◆ シラバス修正期間(新規入力も可)
3月8日(月)～3月14日(日)
- ◆ 第三者チェック期間Ⅱ
3月15日(月)～3月21日(日)
- ◆ シラバス公開
3月30日(火)～

【募集開始】令和3年度学長裁量経費

下記要領で募集を開始いたします。ぜひご応募
ください。

- ◆ 申請期間 令和3年2月1日(月)～2月28日(日)
- ◆ 審査期間 令和3年3月1日(月)～3月20日(土)
- ◆ 申請書(サイボウズGaroon)
ファイル管理→部門別→学修・教育開発センター→申請書